個人情報の保護に関する方針

・援助していく中で明らかにされるプライバシーは、秘密情報として適切に保持しなければならない。

これは援助を受ける利用者からみれば、当然守られるべき権利であり、プライバシーに対して最新の注意をはらいながら信頼関係を作ることは、円滑な援助関係の構築につながる。

・記録、他の関係機関への情報提供の際にも充分な配慮が必要である。